

～親子体験学習「栄養いっぱい麦と雑穀の秘密」～の概要

- 1 日時 平成20年8月20日（水） 9:00～12:00
- 2 場所 株式会社 はくばく本社工場
南巨摩郡増穂町最勝寺1351
- 3 参加者 一般消費者（親子8組） 18名
株式会社はくばく 購買・物流本部長 鈴木 敦
購買・物流本部購買グループ課長 鴨狩 晃樹
白麦米工場長 千須和広司
カスタマーセンター広報担当 波多 広美
山梨農政事務所 消費生活課長 栗山 省一
消費生活課消費経済係長 上田 正
地域課課長補佐（消費・安全） 八巻 儀隆
地域課消費経済係長 小沢 正樹

4 内容（概要）

- ① 講演 ～「麦と雑穀のはなし」 株式会社はくばく
～「食育と「食事バランスガイド」について」 山梨農政事務所
- ② 体験学習 ～麦（麦茶、押し麦）加工行程の体験 山梨農政事務所
- ③ 工場見学 ～ 精麦工場内において精麦工程の説明 株式会社はくばく
- ③ 試食 ～十六穀ごはん、麦割りごはん（2種） 株式会社はくばく
- ⑤ 意見交換

・⑤の意見交換概要

参加者 :	工場にほとんど人がいなかったのですがどうしてですか？
はくばく :	麦の加工作業は、ほとんどがオートメーション化されており、点検と調整のため、定期的に見回りをしています。
参加者 :	この工場で作っている押し麦の全国シェアは？
はくばく :	地方の小さな町にある会社ですが全国の6割シェアとなっている。
参加者 :	今までに、いろいろと商品開発をされていますが、現在、新商品を考えていますか？
はくばく :	お客様の声を聞いて、よりおいしく食べやすい麦を目指して、商品の開発を行っていきたいと考えております。
参加者 :	輸出はしているのですか
はくばく :	少量ですが商社を通して輸出しています。
参加者 :	日本は多くの食料を輸入していますが、安全性について不安があるものもあります。できれば国産のものを買いたいのですが品数も少ないように

	<p>思います。国では国内産農産物の流通に、どんな努力をしているのでしょうか。</p>
<p>事務所 : (消費生活 課長)</p>	<p>現在、日本は6割程度の食料を外国に頼っています。国も食料自給率向上のため、生産面だけでなく消費者を巻き込んだ対策を取っています。</p> <p>消費の面では、「食事バランスガイド」に合わせ、米を中心とした日本型食生活の推進をしています。</p> <p>生産の面では、生産力向上はもちろん経営的にも強い農業者を育成するための対策を行っています。</p> <p>消費と生産にからむ面では地産地消を推進しています。</p> <p>食料自給率を上げるためには、需要と供給のバランスが必要となりますので、皆様には消費の面でご協力をお願いします。</p>

○参加者からの感想

- ・ 麦の黒い線を切断して白くする特許を取ったことを知りすごいと思った。(保護者)
- ・ 本日参加して、衛生管理の徹底、商品の製造工程がよくわかり大変勉強になりました。親子共々貴重な経験ができ有意義でした。(保護者)
- ・ 健康的な食事には気をつけていたつもりだったが、今日の話を通じて改めて麦ご飯や発芽玄米なども含め、バランスのよい食事に心がけたい。(保護者)
- ・ 子供が体験学習、工場見学により、少しでも食のありがたみを知って、食べ残しをしないようにと願っています。(保護者)
- ・ 麦茶づくりが楽しかった。自分でも麦茶が作れるとは思わなかった(子供)